

ハートパル

2020年
3月
214号

世界でもっとも男女平等な国

北欧の島国アイスランドは、11年連続、ジェンダーギャップ指数ランキング1位の国です。そこには、声を上げた女性たちの歴史があります。始まりは1975年、女性が男性との同一賃金を求めて起こしたストライキ。アイスランドの成人女性のなんと90%が参加したといわれています。その5年後には女性初の大統領が選出されました。その後も女性たちのたゆまない努力が“世界でもっとも男女平等な国”を作り上げてきました。

アイスランド

※1 ジェンダーギャップ指数とは、世界経済フォーラムが毎年行っている調査です。政治・経済・教育・健康の4分野14項目で男女平等の度合いを指数化し、順位をつけています。2019年の日本の順位は、153か国中121位でした。

政治

- ◆1980年～1996年 初の女性大統領
 - ◆2009年～2013年 初の女性首相
 - ◆2017年～ 女性首相
- 国会議員の女性比率 38.1% (2019年)



政治的意思決定の場にクオータ制を導入し、男女のいずれも40%を下回らないように条文に明記したそうです。また、上場企業の役員や弁護士・医師などの専門職や技術職も半数が女性なんだって、すごい！

労働

- ◆2017年「性別による賃金格差を禁ずる」法律施行



企業には、男女ともに同一賃金を支払っているという証明書の発行や企業役員の40%を女性にすることが義務づけられています！

- ◆2000年 育児休業制度の導入
給与の80%が基金から支給

母親だけが育休を取る場合は6か月が限度、父親も取得することで合計9か月間取得できる。このため取得率は7割以上。家族の絆がグッと深まるね！



やっぱり北欧は進んでいる！

この1年、大半の国がジェンダー^{※2}平等に向けて大きく前進しています。2006年の調査開始以来、ほぼ毎年、北欧諸国が上位を独占しており、2019年も第2位はノルウェー、第3位はフィンランド、第4位はスウェーデンです。北欧は福祉国家として有名ですが、男女平等の国としても注目されています。ちなみに、ジェンダー平等の進んだトップ10の国のうち5か国は女性が政府首脳を務めています。わが国も女性の活躍が期待されます。

女性の割合	ノルウェー	フィンランド	スウェーデン
国会議員	41.4%	46.0%	47.0%
経営・管理職	35.9%	33.8%	39.4%
医師	46.0%	58.0%	47.0%

出典：OECD 統計 2018年、2019年

※2 ジェンダーとは、社会的・文化的につくられた性別。社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」のこと。

毎年3月8日は「国際女性デー」です。



1975年、女性の権利と世界平和をめざす日として、国連によって定められました。女性たちが、平和と安全、開発における役割の拡大、組織やコミュニティにおける地位向上によってどこまでその可能性を広げてきたかを確認すると同時に、今後のさらなる前進に向けて話し合う機会として設けられた記念日です。

毎年3月10日は「農山漁村女性の日」です。



21世紀の農林水産業、農山漁村の発展に向け、女性が農林水産業の重要な担い手として、より一層能力を発揮していくことを促進するために設けられました。女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を企業の技術やアイデアなどに結び付け、商品やサービスなどにつなげる取組「農業女子プロジェクト」が動いています。

毎年3月1日から3月8日は「女性の健康週間」です。



女性は、妊娠・出産や女性特有の更年期疾患を経験する可能性があるなど、健康上の問題に直面することに留意する必要があります。「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(性と生殖に関する健康と権利)の視点が重要です。女性が生涯を通して健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすためには、生活の場(家庭、地域、職域、学校)を通じて、女性の様々な健康問題を社会全体で支援することが必要です。

男女共同参画推進センター「ハートパル」

女性のための 相談室



0957-54-8715

秘密は守ります
無料です

- ・電話相談 ・面接相談 (できれば事前にお電話を)
- ・月曜～金曜 9時～17時

講座報告

「マインドフルネス講座」

2月2日(日)、講師に入江詩子さんをお迎えし、「マインドフルネス講座」を開催し、54名の方に参加していただきました。ストレスケアの重要性についての講義とあわせ、ストレッチや自分の呼吸だけに集中する実践をしました。参加者からは、「以前から興味があり、楽しく学べてよかった。自分に目を向けようという意識になりました。」などの感想をいただきました。



「LGBT(性的少数者)講座」

2月16日(日)、講師に於保孝一(おほこういち)さんをお迎えし、大村市コミュニティセンター第5会議室で、「はじめてのLGBT(性的少数者)講座」を開催しました。当日は60名の方に参加していただきました。講師のお話やDVD視聴、簡単なグループワークを交えた講座に参加者からは、「誰もが生きやすい社会になればいいな。LGBTのことがよくわかりました。」などの感想をいただきました。



「孫育て講座」

2月21日(金)、講師に守永恵さんをお迎えし、「ファミリーサポートセンター」での取組と、それをきっかけに地域の新しい人間関係が広がることについてのお話がありました。参加者からは「初めての孫育てで不安もありますが、『孤立』ではなく『協調すること』の大切さを改めて認識することができました。」などの感想をいただきました。



☆当センターの講座・イベントに参加し、右図の駐車場をご利用の場合は、無料駐車券を発行します。

【申込先・問合せ先】

大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」

〒856-0832

大村市本町 458 番地 2 プラットおおむら 4 階 (旧浜屋ビル)

TEL : 0957-54-8715 FAX : 0957-54-8700

Eメール : danjyo-s@city.omura.nagasaki.jp

【問合せ時間】 月～金 8時30分～17時30分 (祝・年末年始休)

